



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2025年（令和7年）10月20日発行

◆Vol.95

故きを温ねて、新しきを知る
～帯広葵学園のあしあと95～

いつで子どもは、大人を映す

— 60年前の詩から —

学校法人帯広葵学園 理事長 上野敏郎

高島巖著「だれでもはじめは子どもだった」の初版本の発行はおよそ60年前の昭和41年です。その中に、清水エミ子さんという幼稚園教諭が書いた『ちがうぼくととりかえて』という本を紹介した一文があります。著者の清水さんはこう書きだします。

「私はむちゅうになつて、子どもたちの世界作り（生活）の手伝いをしました。でもその努力は、ほんのわずかしがむくいらなかったのです。いいえ、私がむちゅうになればなるほど、子どもたちは、自分の世界をほうりだし、とんでもない世界をつくりだしてしまふのです。こんなとき、私は、子どもの前に立ち往生してしまいます。なぜ、この子とうまくつきあえないのだろう…と苦しみ、そして自分の無能力さをなげきました。こんな気持ちのとき、指をくわえてボンヤリ空（くう）を見ていた子に「あそぼう」と声をかけてみたら、答えのかわりに

『いまごろ ひろし おっぱいのんで かあちゃんねてるね』

せんせいも おっぱいある ぼく、かえろうかな へすすむく』

と、さびしそうつづばやいて私の顔を見ました。私はからだに電流を通されたような気持ちでした。」というものです。子どもの世界に入ることの難しさを教えてくれるとは思いませんか。こんな詩も紹介しています。

『ぼく、こないだ おほしさまに たのんだの いまの ぼくと ちがう ぼくと

とりかえて ちょうだいって。 だって おこられてばかり いるから。

となりの おばさんも このこと ちがうほうなら すきっていったから。へひろし』

60年前の子どもの声です。今だって同じだと思いませんか。どこかにビビッときますでしたか。



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>



帯広の森幼稚園



012おびもり



つづが丘幼稚園



012 青い鳥保育園



緑陽台認定こども園



柳町認定こども園



駒場認定こども園



あおいキッズランド



東士狩保育所



あおいとり